

前	奏	黙想	祈	禱	
招	詞	イザヤ書 57:15	讚	美	歌 262 十字架のもとぞ
讚	美	歌 61 かがやくみとのよ	献	金	
祈	禱		讚	詠	547 いまささぐるそなえものを
信仰告白	使徒信条	566	黙	禱	
聖	書	イザヤ書 53:10	主の祈り		564
		マルコによる福音書 14:32~42	讚	詠	546 聖なるかな、せいなるかな
讚	美	歌 298 やすかれ、わがこころよ	祝	禱	
説	教	『ここで、ここを離れずに』	後	奏	

「わたしは死ぬばかりに悲しい。ここを離れず、目を覚ましていなさい(マルコ14:34)」。「目を覚ましていなさい(14:38)」とイエスはくり返し命じた。この場面の前にも、殺意漂う不穏な空気の中(14:1)、四度も「目を覚ましていよ(13:33,34,35,37)」と命じている。これだけ言われ続けても、どうしても眠りこけてしまう弟子たち(14:41)。これは十字架へ向かうイエスに従う、すべての者への戒め(13:37)。

「あなたがたに言うことは、すべての人に言うのだ。目を覚ましていなさい(13:37)」。そんなイエスの声を聞くと、居眠りしている私はドキッとさせられる。平安な時だけでなく、危機の時も、居眠りは、なんと避けたい誘惑なのだろう。「誘惑に陥らぬよう、目を覚まして祈っていなさい(14:38)」。

それにしても、「目を覚ましていて」何を見よ、何をせよ、と言っているのだろうか。居眠りしがちな私でも、起きて目を覚ましている時は働くし、少しくらい勉強もする。十字架が目の前のひと晩くらいは「徹夜くらいせよ」ということなのか。80年代のバブル期には「24時間闘えますか」というサラリーマン向け栄養ドリンクのCMがあった。あんな激しい目覚めイメージだろうか。現代の「AI」だったら24時間どころか、眠らずに目を覚まし続け、働き、いかなる時も冷静でいられるのだが。

いや、眠らないAIや、24時間闘う労働者や、通常の睡眠に対する「目覚め」の事ではない。では、何なのか。イエス・キリスト、すなわち人間となった神が「死ぬばかりに悲しむ 14:34」姿を「見届け」こと。しかし弟子たちは眠りこけてしまう。「イエスは三度目に戻って来て言われた。〔あなたがたはまだ眠っている。休んでいる。もうこれでいい。時が来た。人の子は罪人たちの手に引き渡される〕(14:41)」。これは諦めた吐き捨て調子ではなく、言葉通りの意味で「もうこれでいい」のだ。

「病に苦しむこの人を打ち砕こうと主は望まれ、彼は自らを償いの献げ物とした。彼は、子孫が末永く続くのを見る。主の望まれることは、彼の手によって成し遂げられる(イザヤ53:10)」。

世の病を負ってキリストは苦しむ。「病」とは、祭司長らの憎悪やユダの裏切りのような大悪だけではない。抜け駆けする弟子たちのセコさ(マルコ10:37,41)、威勢のよさ(14:47)と臆病さ(14:50)がない交ぜになっている小悪も病だ。主の独り子を「主は打ち砕き」、打ち砕かれるキリストの手によって「主の望まれること」が成し遂げられる(イザヤ53:10)。主のこんな御計画、どこの誰が信じえようか(53:1)。

「ここを離れず、目を覚ましていなさい(マルコ14:34)」。今「ここ」で起っている事、すなわちキリストが「自らを償いの献げ物(イザヤ53:10)」にしようとしている姿を「ここを離れず」見届けよ、と。それではキリストの「償いの献げ物」は、どう現れているのか。「アッパ、父よ~この杯をわたしから取りのけてください。しかし、わたしが願うことではなく、御心に適うことが行われますように(14:36)」。

十字架上の叫びが(マルコ16:34,ルカ23:46)、この時すでに「ここ」で小さく響いている。神の子が、確かに一人の人間となり、私たちのすぐ傍らの「ここ」にいる。人間の低み「地面にひれ伏し(マルコ14:35)」、人間の声で祈っている。「自らを償いの献げ物とした(イザヤ53:10)」救い主が「ここ」にいる。弟子たちは眠り逃げた(マルコ14:50)。だが聖霊によってみともない自分を隠さないキリストの証人になった。

「あの夜」という時があり 「ここ」という場があった 永遠なるキリストは具体的な世にあった 歴史の一回きりの出来事 永遠のキリストはくり返し生起し 私たちの「ここ」に聖霊として吹く
3/11(水)12:00~2:00 エステル会。3/14(土)1:30~3:00 聖研・祈祷会。今年の復活祭(イースター)は4/5
です。牧師の動き:3/12(木)終日、甲府刑務所で集合・個人教誨。3/13(金)山梨ダルク支援会。

礼拝堂・集会所の住所: 408-0012 山梨県北杜市高根町箕輪 2265-3

連絡・問い合わせは牧師へ: 408-0205 北杜市明野町浅尾新田 1324 TEL 0551-25-4008

eメールは komechan.olive@gmail.com HPは「日本基督教団八ヶ岳教会」で検索して下さい。